

『商品代金請求書』標準書式の制定について

経理業務標準化協議ワーキンググループ

これまで請求書や支払案内書において、同一の業務であっても発信元の卸毎あるいはメーカー毎で異なる帳票書式を使ってきています。しかしながら、帳票書式が各企業毎で異なることは、受けとった帳票を処理する者にとっては煩雑であり、非効率となる要因です。

このような煩雑さを減らし、確認時間を削減し、個人に依存しない定型業務化を実現することで、業務改善につながります。

卸とその取引先を含む業界全体での効率化につながるよう、同じ業務では全て同じ帳票書式を使うように【標準書式化】を長期的視点に立って進めることは意義深いことです。実際に、各企業で発行する帳票すべてが同じ書式になるには、長い期間がかかるものと考えられますが、将来を見据えて取り組む必要があります。

また業界全体の効率化を目指すには、卸・メーカーの双方で効果が享受出来る必要があり、【標準書式化】は、卸→メーカー、メーカー→卸の双方向の帳票書式で行っていく必要があります。

販売促進金の請求・支払業務については、『販売促進金請求書』標準書式が平成24年10月に制定されています。この標準書式を利用している卸も拡大しつつあるところですが、これを踏まえ、同帳票の折り返しとなる『販売促進金支払案内書』について、経理業務標準化協議プロジェクト(平成26年度)、経理業務標準化協議ワーキンググループ(平成27年度)において検討を進め、平成27年7月に制定しました。引き続き、並行して『商品代金請求書』について検討を進めてきた成果として、ここに『商品代金請求書』標準書式を制定する次第です。

【商品代金請求書】 標準書式

経理業務標準化協議WG

2015年8月20日

改訂履歴

バージョン	改訂内容	改訂日
1.0	新規作成	2015/8/20

1. 標準書式利用の意義

卸からメーカーへの販売促進金請求書では標準書式が制定され、複数の卸が利用を進めているところである。これによって、メーカーは複数の卸から同じ書式で受け取ることができ、確認業務の効率化が期待できる。一方でメーカーから卸への商品代金請求書でも標準書式を使うことで、受け取る卸側業務の改善が期待できる。



- (1) 確認業務の効率化 …発行元によって異なる書式だと、非効率の原因に
- (2) 受領側の業務を理解した上での発行 …発行側の都合や思いこみを解消

2. あるべき姿

- (1) 基本的には、データで照合できることが望ましい。標準書式での出力を検討する際には、同内容のデータをEDIで受け渡すことも検討すべきである。
 - 1) 商品代金の請求・支払に係る情報交換においては、特に明細レベルで日食協で制定されている「出荷案内システムに準拠したEDIに対応できる。

商品代金請求書 印字項目説明

場所	印字項目名		説明
(1)	作成日		品代請求書の作成日 西暦で印字。YYYY年MM月DD日(数字は半角)
(2)	Page		当該ページ番号/総ページ数 (半角数字)
(3)	帳票タイトル		各社の帳票タイトル
(4)	送付先	郵便番号	送付先の郵便番号 (半角数字)
(5)		住所1	送付先の住所の1行目
(6)		住所2	送付先の住所の2行目
(7)		企業名	送付先の企業名称
(8)		企業部署名	送付先の企業部署の名称
(9)		送付先コード	送付元で管理する送付先のコード
(10)	請求書No.		品代請求書の請求書No.
(11)	決済方法		振込、売掛金相殺
(12)	支払期日		YYYY年MM月DD日(数字は半角)
(13)	対象期間	締め日	MM月DD日締め分(数字は半角)
(14)		開始日	YYYY年MM月DD日(数字は半角)
(15)		終了日	YYYY年MM月DD日(数字は半角)
(16)	送付元	郵便番号	送付元の郵便番号 (半角数字)
(17)		住所1	送付元の住所の1行目
(18)		住所2	送付元の住所の2行目
(19)		企業名	送付元の企業名称
(20)		担当部署名	送付元の担当部署名
(21)		送付元コード	送付先で判別に使用できる送付元を示すコード
(22)		担当	送付元の担当者情報、ブランクになる時は「担当:」を消す
(23)		担当部署電話番号	送付元の担当部署の電話番号 (半角数字)
(24)	担当部署FAX番号	送付元の担当部署のFAX番号 (半角数字)	
(25)	決済	振込先銀行	振込先銀行名
(26)		振込先銀行支店	振込先銀行支店名
(27)		振込先口座種別	振込先口座種別
(28)		振込先口座番号	振込先口座番号 (半角数字)
(29)		振込先口座	振込先口座名義 (半角カナ)
(30)	請求金額	前月請求金額合計(税込)	前月の請求金額合計
(31)		繰越金額(税込)	前月残額－入金額
(32)		請求金額合計(税込)	当月請求金額合計(税込)＋繰越金額(税込)
(33)		区分の合計	前月請求後の入金額合計
(34)	区分毎の内容	入金額(税込) 合計	商品代金の合計額
(35)		商品代金 合計	商品代金の合計額
(36)		割戻1 合計	割戻金額その1の合計、項目タイトル変更可
(37)		割戻2 合計	割戻金額その2の合計、項目タイトル変更可
(38)		割戻3 合計	割戻金額その3の合計、項目タイトル変更可
(39)		控除額 合計	割戻1合計＋割戻2合計＋割戻3合計
(40)		控除後金額 合計	商品代金合計－控除額合計
(41)		消費税額 合計	消費税額の合計
(42)	当月請求金額 合計	控除後金額合計＋消費税額合計	
(43)	区分	大分類	商品区分、支店支社、課税区分、容器代、値引き、返品などの大分類
(44)		中分類	商品区分、支店支社、課税区分、容器代、値引き、返品などの中分類
(45)	入金額(税込)		(33)の内数である、区分毎小計
(46)	商品代金		(34)の内数である、区分毎小計
(47)	割戻1		(35)の内数である、区分毎小計
(48)	割戻2		(36)の内数である、区分毎小計
(49)	割戻3		(37)の内数である、区分毎小計
(50)	控除額		(38)の内数である、区分毎小計
(51)	控除後金額		(39)の内数である、区分毎小計
(52)	消費税額		(40)の内数である、区分毎小計
(53)	当月請求金額		(41)の内数である、区分毎小計
(53)	摘要		自由使用欄

商品代金請求書(明細書) 印字項目説明

場所	印字項目名	説明
(1)	作成日	品代請求書(明細書)の作成日 西暦で印字 YYY年MM月DD日(数字は半角)
(2)	ページ	当該ページ番号/総ページ数(半角数字)
(3)	帳票タイトル	各社の帳票タイトル
(4)	送付先	企業名
(5)		送付先の企業名称
(6)		送付先の企業部署の名称
(7)	請求書No.	送付先で管理する送付先のコード
(8)	請求書No. 対象期間	商品代金請求書の請求書No.
(9)		締め日
(10)		MM月DD日締め分(数字は半角)
(11)	開始日	YYYY年MM月01日(数字は半角)
(12)	終了日	YYYY年MM月末日(数字は半角)
(13)	税率	消費税の税率 税率が変わる場合は改ページする
(14)	送付元	送付元の企業名称
(15)		送付元の担当部署名
(16)		送付先で判別に使用できる送付元を示すコード
(17)	伝票ヘッダ一部	出荷日
(18)	(元伝日付)	商品を出荷した年月日、または納品した年月日 西暦で印字 YY/MM/DD(数字は半角)
(19)		伝票訂正時は、元伝票の日付を()表示
(20)	伝票区分	倉入、直送、倉引取、直送引取、運賃、値引、景品、見本、相殺、などの区分を表示
(21)	出荷No.	送付元で付番する出荷No.
(22)	(元伝No.)	伝票訂正時は、元伝票No. を()表示
(23)	販売先コード	販売先を示すコード
(24)	届け先コード	届け先を示すコード
(25)	販売先名	販売先の名称
(26)	届け先名	納品先の名称
(27)	伝票明細部	発注No.
(28)		送付先で付番する発注No.
(29)		商品コード
(30)		商品コード
(31)		GTIN
(32)		商品の名称
(33)		明細単位の自由使用欄
(34)		出荷単位当たりの総バラ入数
(35)		出荷単位の数量
(36)		(同一商品についてケース数と重量を表示する必要がある場合には2明細分のスペースを使って表示する)
(37)	数量単位	取引数量単位 CS、ボール、個、kg、g、mg、L (同一商品についてケース数と重量を表示する必要がある場合には2明細分のスペースを使って表示する)
(38)	単価	通常は数量単位に対応した販売価格 単価単位が数量単位と異なる場合には、単価単位に対応した販売価格 (同一商品についてケース数と重量を表示する必要がある場合には2明細分のスペースを使って表示する)
(39)	単価単位	単価の数量単位 CS、ボール、個、kg、g、mg、L 通常は数量単位と一致する。 (同一商品についてケース数と重量を表示する必要がある場合には2明細分のスペースを使って表示する)
(40)	商品代	単価単位の数量×単価
(41)	割戻1	割戻金額その1の金額
(42)	割戻条件値1	割戻金額その1の算出基準とその条件 率、金額、単価、の別があり、率の場合は%で表示、金額の場合は(金額)と表示、単価の場合は、単価金額を表示する
(43)	割戻条件説明1	割戻条件値1の前に、説明を追記する場合に使用する。漢字2文字
(44)	割戻2	割戻金額その2の金額
(45)	割戻条件値2	割戻金額その2の算出基準とその条件 率、金額、単価、の別があり、率の場合は%で表示、金額の場合は(金額)と表示、単価の場合は、単価金額を表示する
(46)	割戻条件説明2	割戻条件値2の前に、説明を追記する場合に使用する。漢字2文字
(47)	割戻3	割戻金額その3の金額
(48)	割戻条件値3	割戻金額その3の算出基準とその条件 率、金額、単価、の別があり、率の場合は%で表示、金額の場合は(金額)と表示、単価の場合は、単価金額を表示する
(49)	割戻条件説明3	割戻条件値3の前に、説明を追記する場合に使用する。漢字2文字
(50)	控除後金額	商品代-割戻1-割戻2-割戻3
(51)	消費税額	消費税の金額
(52)	伝票摘要	出荷No. 単位の自由使用欄
(53)	出荷No. 小計	出荷No. 単位の商品代の小計
(54)		出荷No. 単位の控除後金の小計
(55)		出荷No. 単位の消費税等の小計、ブランクの場合は「消費税額小計」を表示しない
(56)	請求額 小計	出荷No. 単位の請求額の小計、控除後金額小計と消費税額小計を加算
(57)	合計	商品代合計
(58)		最後のページにのみ表示、他のページには表示しない
(59)		控除後金額合計
(60)		最後のページにのみ表示、他のページには表示しない
(61)	消費税額合計	消費税の合計
(62)	最後のページにのみ表示、他のページには表示しない	
(63)	請求額合計	請求額の合計
(64)	最後のページにのみ表示、他のページには表示しない	